夕刊 常磐毎日
発行所 平市田町75 常磐毎日新聞社 電話1210
編集兼印刷発行人 吉田甲

一世帯二万七千圓
平市民の家計調査平均

平市統計係りでは市内の勤労、一般家庭など三十九世帯（百七十八人）＝一世帯平均四人半＝を対象に十一月一ケ月間に於ける家計調査を行つていたが十四日次の通りまとまつた

▼総支出八十四万九千六百九十円、一世帯二万一千七百五十八円、一人当り四千七百七十三円なおこの統計による二人以上の家庭に於ける経費は次の通りとなる

▼二人世帯三万三千五百八十六円▼三人世帯二万九千四百八十八円▼四人世帯一万八千五百二十四円▼五人世帯一万六千百十五円▼六人世帯二万八千七百九十一円▼七人世帯一万八千九百十九円▼八人世帯三万七千二百八十六円▼九人世帯二万一千三百九十五円

なお勤労者二十世帯の平均による一世帯二万七千三百四十九円、一人当り五千六百三十九円となつている

大臣賞表彰傳達
十八日に市役所で挙行

平二中校の生徒らが組織している「御園子供銀行」及び第五小校児童らの組織している「飯野こども銀行」は既報の通り成績優秀のかどで大蔵大臣賞を授与されることになつたがこの表彰伝達式は十八日市役所で行われる、御園銀行は百万二千円の貯金、飯野銀行は三十万一千円の貯金ぶりである

湯本公民館
運営審議委員会

湯本公民館運営審議委員会は二十日午後一時から同館で開催、二十八年度各部委員会活動報告及び省、決算など行い次えで全国表彰記念アーチ建設、ピアノ購入、館報発刊、談話室設置前館長に対する記念品贈呈などについて協議する

内郷町で
社会実態調査

内郷町では中村福大経済学部長らを招き、経済的立場から明るい町建設をめざし第二回社会実態調査を行うことになつた

童ひとり
静かに落葉たきいたり

好間村で
村内マラソン

好間村の体育部では、十三日午前九時から凶作克服村内一週マラソン大会を挙行した、吉河炭砿はじめ村内各会社などから四十名が参加郵便局前から出発村内行程十三粁七百米一巡して熱戦を展開した結果次の人たちが入賞、平市大塚運動具店寄贈の賞品を贈られた

一等、猪狩高雄（五十二分十秒）二等、佐藤昭（五十二分十二秒）三等、須田辰雄（五十三分二十秒）四等、鈴木進（五十四分三十二秒）五等、宮野正美（五十五分六秒）六等、芳賀正巳（五十五分五十八秒）

小名浜産業大会
入賞者決定

小名浜公民館主催の第三回小名浜産業振興大会は十三日午前十時から同町公民館で開らかれたが、審査の結果次の入賞者が決まつた

生活改善の部①「室内用の物干の研究」小野マサ子（小名浜高二年）②「生活の能力化」鈴木百合子（小名浜高一年）③「洋服のいこうの研究」初瀬ヒメ子若松モト子（小名浜校高一年）

農業の部 ①「まふくメロン栽培について」馬目重行（同町四H C会員）②「さといもの増収栽培について」馬目卓郎（同町四H C会員）

水産の部 ①サンマの廻遊と資源について」渡辺久（小名浜水産試験所）

四倉は昆布景氣
サンマと二重奏に大童わ

更に昨今同町名物の「双璧昆布」の注文が殺到して寝を控えて二重の喜びに文字通りの「てんやわんや」であるうれしい悲鳴をあげているが

現在四倉町内で行われている、こん布工場従業員は約三四十名だが殆んど女工員が多く爺方、婆方、詰方にわかれて一貫作業を行つており今月から来春にかけて最盛期とあつて工場内は、てんてこ舞の忙しさである

昆布の生産は一日に百五十箱（一箱七十五把入、一把三十匁）を産出月平均百万円と云う金額が生産されている、移出先は関西、関東、東北方面に飛ぶように出荷されている

これは昆布の原産地である北海道の様に生産地に近い為めに鮮度が保たれ品質が良いからである

鈴木候補の應援に
天野光晴縣議らが來援

知事選挙の石城に於ける立会演説は十五日午後一時湯本町公民館を皮切りに、同日午後七時小名浜第一小校、十六日は午後一時植田町小学校、午後七時平市公会堂の四ケ所で行われるが

県議補選も、十四日の立候補届出締切日を契機に愈々終盤戦に入り、終仕あげの段階に突入したので、各候補とも大物を街頭に進出させてしのぎを削る激戦を展開している

特に緒戦から木村支部長を陣頭に遊沼議長、小野幹事長をくり出しが今年の二、三月頃の暖さのため氷山がとけて流氷により昆布床がいためられそれに雨天続きで不作と言われているためである

挙党協郡一致して公認鈴木喜政候補必勝の布陣を敷く自由党の進出はめざましく

十四日には県会土木委員長天野光晴、大ヶ正次県議らも相次えで来援、遊沼議長とともに好間地区の街頭に立つて「鈴木候補を落すな」と堂々の論戦を展開した

配給所が悲鳴
暮迫つて米不足に悩む

凶作による米不足、ヤミ米の不足更に主食配給の五日分減などにより、従来の配給辞退など一度に吹つ飛び、市内の米屋さんでは配給米の不足が急激に日立ち悲鳴を上げている

平市内三十九軒の米屋さんにより九月以降十一月末日までに生じた不足分は一万三千六百十五キロにのぼり、米屋さんでは「期末整理に基く主食配給割不当足量」の追加割当申請を県当局に行つているが

これらは人口に対する平均割当と実際配給との間に生ずる加不足のズレが凶作による米不足によつて極端に現れたもの

湯本教育委員会
湯本町教育委員会は十六日午後一時から同町役場で開催

▼教育長、職員給与条例及び教委

湯本音楽集い

湯本町音楽サークル「夜明」では十七日午後六時三十分から公民館でコーラス会を開催する

曲目はシウベルトのセレナード外二曲

内郷一中の
村上先生御難

平市十五丁目十二内郷一中教員村上三衛さん（三）は十二日正午から十三日午前二時ごろまでの時間に平市五丁目松美食堂で友人と忘年会をしているうちに現金二千三百円、その他衣類在中の皮カバン、時価一万円相当を盗まれているのを発見、平市署に届出た

地教連臨時總會

地教委石城地区連協臨時総会は十九日午後一時から平市第一小校作法室で開催、八十周年記念式典並に表彰式の件、緊急対策事項、昭和二十九年度人事方針等について協議する

内郷地区署
写真コンクール

内郷地区署では署員の写真技術昇揚のため十五日から同署で写真コンクールを行う

接客業者講習会

県計画観光課主催で十五日正午から市公会堂日本間で、商店、バス会社、旅館などの接客業者を集め映画による講習会を行う

小名浜で
前民生委員表彰

小名浜町では、十四日午後三時から同町公民館で民生委員会を開き前委員坂申敏子さんら十五名に感謝状を贈呈した

湯本公民館
職員演芸大会

湯本町図書部では二十五日公民館職員の演劇大会を行う

上演劇は伊藤貞助原作の「日本のカツパ」演出島崎忠好、監督丸山久寿（キヤスト）カツパ高森博、村長高田稔 お徳近内イクヨ、龜三江川文夫、行者つむら仁人

天気予報

（明日）南の風よい天気だが後うす雲がひろがる（海上）だいたいおだやかだが、日中風波が出ることもある

謹啓 大興院 葬送の際は御多忙にも拘らず遠路態々御会葬下され且つ御鄭重なる御芳志誠に有難う御座いました 早速拝趨の上御礼申上げるのが本意ですが略儀乍ら紙上を以て御礼の御挨拶申上げます
昭和二十八年十二月十四日
平市十五丁目
伊東一家 分家 小関家葬儀事務所
母 小関ハル
施主 小関正俊
親族 小関鷹蔵
総代 伊東一
葬儀委員長 渡辺留吉
外副委員長 委員一同

洋品 ヤッケ 毛布 中野洋品店 TEL.53

劇場 開花 田町電一三八九

烹劇 一の井 名一マル アメリカン風食事

正直たわし 他品に頼けぬ 便い良い 高砂ほーき

御用命は 本店 電539 支店 電794

◎冬が来た……
◎定評ある……
緑屋の牛豚肉を
メーカーハム各種

定数条例一部改正などについて協議する

あなたのフレンドに贈る
クリスマス デコレーションケーキ
定評ある
デザインと色彩の妙
優秀な技術者が作る
平製パンの洋菓子
銀治町 平製パン 電話一、一五七、二

看護婦募集
医療法人 松村病院
平市南町二十三番地（駅より真直大通り三丁）
電話一〇七番（受付・事務）
電話一六九六番（第二病室）
電話一八九二番（給食部）

外科 院長 松村亨
整形外科 主任 田辺勇成
性病科 医員 高野節哉
内科 第一内科主任 岸本隆夫
胃腸科 第二内科主任 岡崎仁
呼吸器科 医員 小野実
婦人科 主任 松村亨
歯科 主任 松村政次
技工部 吉田吉之助
レントゲン放射線科 主任 新妻春治
薬局 薬剤師 香山ナヨ

驛前旅館で心中未遂
追はれてるとなぞの遺書

十三日午前九時頃平市白銀町旅館「厚生館」＝館主戸沢イネさん＝方で前夜宿泊した若い男女が抱合つた足アドルム百錠ずつをのみ心中を図り苦もんしているのを女中さんが発見、平市署に届出る一方市内安斎医師に連絡手当を加えた処発見が早かつたゝ為生命は取止めるもよう（写真は両名）

どちらも北海道
犯罪者の逃避行か？

とがあつて結婚を相方の親がゆるさずそれを悲観して自殺を図つたものと見ている

意識回復を待ち
原因を調査

なおその他のくわしいことは両名が完全に意識を回復しないうちは判らないが心中を図つた隣室にも若い男女が泊つていたがこの男女が隣室のうなり声に不審を持ち女中に知らせたもので心中を図つた枕元には女の所持品とみられる寒色サージのワンピース、黒ラシヤのオーバー黒足袋、黒毛糸の手袋に現金三円と布製ハンドバック、化粧品など在中のボストンバックとそのかたわらには、リンゴ六つがあり、また男の背広にはバラで現金千二十円があつた

安全管理協議会

特別安全管理事業場の月例協議会は十五日午後一時から平労基署で開く

農委連絡会

石城農業委員連絡会は十六日午前十時から石城地方事務所で開く

実に三百十名
終戦以来の江名集団赤痢

慢延を続ける江名町第一小学校の集団赤痢は十四日にも検便の結果教職員三名も含めた六十三名が真性赤痢と判りたゞちに同校臨時隔離校舎に隔離した

十四日、六十三名の決定により現在まで隔離された患者は実に三百十名と県下では終戦以来の大集団赤痢になつた

校長一家もり病
原因井戸水

この赤痢禍で県から矢吹公衆衛生課長、隨平保健所長らが連日疫学調査に当つていたが十三日に到り原因は学校の井戸水と断定されまた菌はB3A菌と判つた、慢延の原因となつた井戸水は昨年九月平保健所の調査で大腸菌が発見され再検査を受けない場合は利用を禁じられていたものだが同校小針清中校長が水不足のため去る二十五日水道が断水してからは保健所の再検査を受けず湧水の量が前よりも多くなつたから大丈夫だろうと簡単な考えで使用したものらしく湧水の増加で地下水の吸引力が増え井戸の附近の汚物もその中に入ることが気ずかなかつた校長の常識不足が町民の非難の的となつている、このため同井戸水を利用していた校長一家三名も罹病している

教師八名り病

なお十四日赤痢と決つた教師は若松千代子、小針宏幸、高羽博得さんの三名、これで教師の罹病者は八名となつた

売上金ぬすまる
茗荷屋金物店の帳場で

十三日午後四時五分ころ市内二丁目金物商茗荷屋＝責任者小磯義三さん(三八)＝方の帳場の引出しから売上げ金七万二千円のうち七万円が盗まれているのを小磯さんが発見平市署に届出た

小磯さんの話によると同日午後二時ころから店の奥にまで入つて来て約二時間にわたり店の金物類をあさつていた三十から四十才ぐらいの黒オーバにスキー帽をかぶつた五尺一、二寸小肥りの男らしいと言つていた

トラックとバイク衝突

十三日午前十一時四十分ころ市内紺屋町交叉点で市内上荒川運搬業大河原公義君(三四)の運転する自家用トラックと同市鍛冶町自転車業相川光雄さんの長男原光治さん(二)の原動機自転車が衝突、原君は下腹部に全治十日間の打撲傷を負つた

列車で置引

十三日午後五時五分磐越東線平着に乗車していた上小川村札場出版業四条七十郎さん(三)は網棚に置つたチリメン紺色襟巻、時価千円相当を置引された

湯本巡回文庫

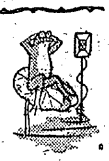
湯本町図書部では巡回文庫十箱を作つて十三日浅貝、磐島、傾城、関船、藤ケ沢など各読書会に配布した

師走に拾うコボレ話
一ぴよう三百五十円での買收は木炭の取引だつた

大浦、二、三日前のバスの中での話だが、百姓風の年ばいの男と、紳士風のカツフクのいい男とが隣んに隣り合せで話合つていた

「一ぴよう三百四、五十円なら百ぴようぐらいすぐまとまる」とは百姓風の男の話、あわてたのは紳士である

「バカだなあ貴方は、おれの言つているのは先月貴方から話のあつた木炭のことだんべい…」ということで双方バク笑のうちに蓉となりバスは走り続けていた



今年も残すところ十五日に迫つて街は歲末売出しやらクリスマスの飾付でなんとなくザワめいている、毎年のことながら巷と言うと何かに追われているようで気ぜわしい時に今年は「知事」「県議」の選挙も行われているせいか一段とあわたゞしいようである、その気ぜわしい世相の中から拾つた街の話題を御披露する

（その一）県議補選もいよいよ終盤に近く、知事選の立会演説も間近とあつて、各候補選挙事務所は全く「てんやわんや」の

師走に拾うコボレ話
一ぴよう三百五十円での買收は木炭の取引だつた

大浦、二、三日前のバスの中での話だが、百姓風の年ばいの男と、紳士風のカツフクのいい男とが隣んに隣り合せで話合つていた

「一ぴよう三百四、五十円なら百ぴようぐらいすぐまとまる」とは百姓風の男の話、あわてたのは紳士である

「バカだなあ貴方は、おれの言つているのは先月貴方から話のあつた木炭のことだんべい…」ということで双方バク笑のうちに蓉となりバスは走り続けていた

「うん、早い方がいいよ、ほかからとられないうちに、こつちが早く手を廻さないとまとまる話もまとまらないからね」

紳士は口元に人さし指を押しつけて、大声で話をするのは場所と注意しているらしい声が、かすかに聞えたと思つたら、トタンに百姓さんが大声で笑い出した

「バカだなあ貴方は、おれの言つているのは先月貴方から話のあつた木炭のことだんべい…」ということで双方バク笑のうちに蓉となりバスは走り続けていた

師走に拾うコボレ話
一ぴよう三百五十円での買收は木炭の取引だつた

大浦、二、三日前のバスの中での話だが、百姓風の年ばいの男と、紳士風のカツフクのいい男とが隣んに隣り合せで話合つていた

「一ぴよう三百四、五十円なら百ぴようぐらいすぐまとまる」とは百姓風の男の話、あわてたのは紳士である

「バカだなあ貴方は、おれの言つているのは先月貴方から話のあつた木炭のことだんべい…」ということで双方バク笑のうちに蓉となりバスは走り続けていた

「なに一ぴよう三百五十円で百ぴよう？」

「百ぴようは確実だ」

競輪ですられて
もと課長さんが首くゝり

市内材木町二三、元函館市保健衛生課長新聖留男氏(三七)は十三日午前八時頃、東京都下北多摩郡布署に届出た

上布田三品岩江戸小屋で首をつて死んでいるのを通行人が発見調べによると去る三日前記市更員を退職、妻敬子、長男定男らを平市に移し本人は東京附近の競輪に通いつめて所持金を使い果し自殺したものらしく質札多数と「病気（競輪狂）のため死ぬ」との妻子宛の遺書をもつていた

大浦に野犬現る
めん羊十数頭かみ殺さる

大浦村キツネ塚畜酒井職兵衛さん(三九)の飼育する牡三才（十五、六貫）のめん羊が去る十一日夜半頃野良犬らしきものにノドなど数ケ所をかまれて死んでいるのを早朝雇主が発見大騒となつた

又隣家の渡辺松五郎さん(七〇)の牝二才（十貫）のめん羊は十三日午前一時ころやはりのど腹部などをかみ切られ肝臓を食われて死んでいるのを女中さんが発見した、その外十三日までの被害は十三、四頭で一頭当り一万円もの損害といわれ農民らはセンセン恐々としている

校長教務主任
合同会議開く

石城小中学校長会主催の小中学校長及び教務主任の合同教育視察研究会は十五日午前十時から内郷町綴小学校で開く

研究課題は綴小学校経営の実際は廿日午後一時から平三小講堂で練習会を開き、クリスマスパーテーを廿六日午後五時半から市公堂で開くことになつた

スケエアダンス廿六日パーテー
スケエア、ダンス石城サークルで

列車内に〝捨子〟
名前は「ひろし」ちやん

十四日午後六時ころ常磐線上り上野行急行二〇三列車＝平着午前七時五分＝食堂車の洗面所にアイスクリーム在中のズツク製袋を持つた三才ぐらいの男幼児のすて児を平鉄道公安官が発見、原町公安分室に保護した

子供は目がパツチリと色白、クチビルがやゝ厚く、服装は毛糸スキー帽、掛ズボン、靴下姿で靴ははいていない、名前は「ひろし」と言つている

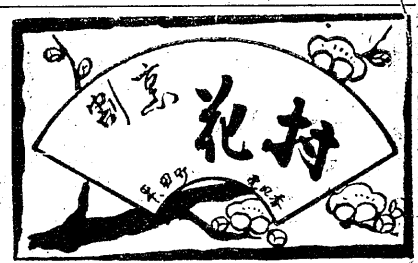
生活に疲れたと
遺書を残し母と子が家出

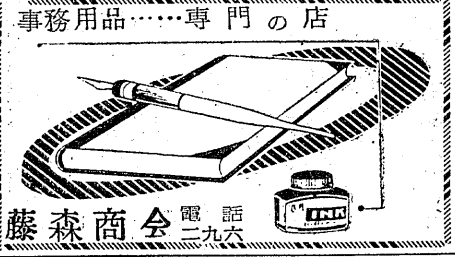
植田町渋川十農業若野徳蔵さん妻キヨノさん(四三)と次男弘君(八)の母子は十三日午後五時ころ常磐線上り上野行四三〇列車で東京方面に行くと附近の家の者に言つて家出したことが仕事から帰つて来た徳蔵さんあての遺書で判りびつくりして植田地区署に捜査願を出した

遺書には生活に疲れ切つてしまつた、永い間御めいわくをかけましたと書いてあり母の生活つかれにきよう鳴した次男はバーで紺の上衣、白足袋、紫桑雄桐下駄を履いておりナイロンの風呂敷を持つている弘君は五尺竹で色白、頭は七、三に分けている着衣は紺のオーバー、茶のジャンパーにチヨコレート短靴

好間に痴漢
危く難を免る

十二日午後四時半ころ好間村字小谷作日屋橋本フヨ子(三)さんは同村小谷作地内を通行中、突然背後から二十五、六才黒オーバーの男が飛びかゝり、押し倒されたが暴行寸前附近を人が通りかゝつたので危く難をまぬかれた




事務用品……専門の店
藤森商会　電話二九六

出生死亡　十四日届出
出生＝平市南町五四根本安長女佳津子、平市下平窪四六青住登長男信夫、平市中町三黒沢隣世三女祐子、平市南町四六荒井一郎二女洋子

昭和二十八年十二月十日より
於　酒藏しらぎく
晴雨に不拘十五日間呑相撲挙行仕候

蒙御免

酒藏みます　九一五

大谷石　末廣　平五　井上　電一六六

好間に痴漢
危く難を免る

十二日午後四時半ころ好間村字小谷作日屋橋本フヨ子(三)さんは同

募集
女店員入用
御希望の方は履歴書御送附願います
株式会社　岡庭電気商会
東京都台東区下谷御徒町二ノ三十一
連絡先　平市二丁目、電九七二番
古山電氣商会

豊松のコロッケ　電一八五四

燃料の節約には
特殊棒炭　平市一丁目角
煉炭　市原商店
東和カマド　電話二四四四九九番

中華料理　ランチの
お食事のデパート
不二屋　電六八八・一七五〇

御中食は皆様の食堂で
是非外食券御利用
★御丼物類★
★御寿司★
富士独特別製★支那そば★
◆出前迅速◆
◆急募男女店員各参名委細面談◆
和洋支御料理　富士食堂
平市材木町電677、561

◆新年会、忘年会は是非当店へ
◆新年会、忘年会は是非当店へ

特撰伊勢牛
御用命は　マルヰ

しもやけ
◆かゆみを取り
◆くずれを治す
手当によいくすり有り
早めに御使用下さい
あこう薬局　平市田町銀座44